



創刊号

地域社会を元気に!

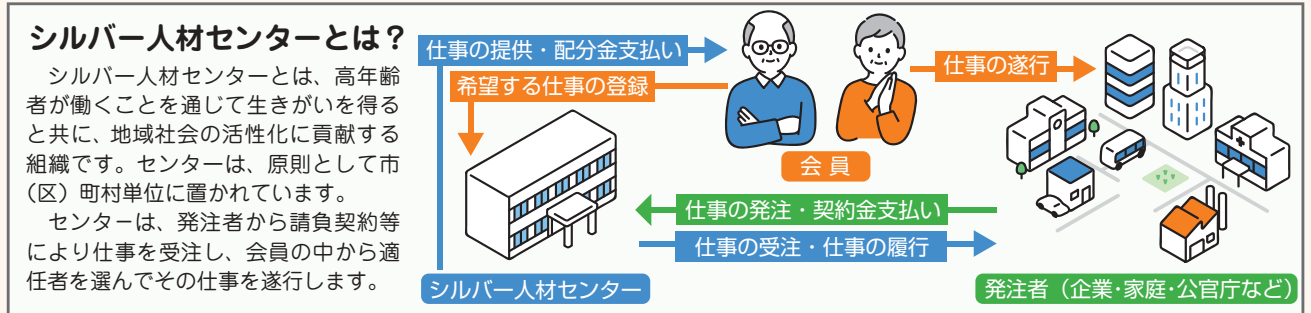
「ひとねる」は三河弁ではぐくむ・育てるのこと

特集

我ら「シルバーさん」応援団 地域を支えるシルバー人材センターとジユトク

全国の地域社会の「元気」を担うシルバー人材センターとその活躍を応援するジユトクをご紹介します

シルバー人材センターは、高齢者に業務を提供することで、会員の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の活性化に貢献しています。ジユトクでは「地域社会を元気に」を事業の柱の一つに掲げ、全国 47 都道府県のシルバー人材センターに安全用品やユニホームなどを提供して、センター会員の就業、ひいてはその地域の元気な暮らしを応援しています。



地域に届け！シルバーパワー！

豊橋市シルバー人材センター様にお聞きしました。

高齢者の豊かな経験、能力を生かし、活力ある地域社会づくりに貢献する組織として、一般家庭、企業、公共機関等から就業の機会を受け、健やかな多くの仲間が活動しています。全国の市町村に存在する私達の組織も高齢化社会の中、会員の増強を第一義とし、併せて就業の場・機会を広げることを2大目標とし、推し進めていますが、それには安全就業が重要です。



会長 酒井 通弘さん



昨年度、全国で発生した事故・怪我のうち、剪定・伐採・除草・清掃の作業中に起きた墜落・転倒などが6割を占めています。

今一度、安心・安全に就業するため、技術研鑽、連携作業はもとより、作業に適應し、季節にあわせた服装、履物、保護具など安全用品の重要性を感じます。

このようなことからジユトクさんの存在は大きな力であると考えています。

どんな仕事をしているの？

豊橋市シルバー人材センター会員の大羽三郎さん（75歳）へ、実際のお仕事内容や、やりがいについてお教えいただきました。

Q、どんなお仕事をされていますか？

A、公園の除草や落ち葉の清掃、個人宅や企業の工場・太陽光発電所・保育園の園庭の草取りなどを行っています。その他、市内の小学生向けに放課後教室で将棋の先生もしています。



Q、入会されたきっかけは？

A、入会前は自動車整備士として認証工場での車の整備をしていました。車の下などの暗い場所での作業が見えにくくなったことをきっかけに引退し、しばらくは果樹園でのアルバイトを経て、友人の声掛けを機に入会しました。



班長 大羽 三郎さん

Q、どんなときにやりがいを感じますか？

A、利用者さんからきれいになったと喜びの声をお聞きしたり、再依頼があったときなど、認めてもらえたと感じとても充実した気持ちになります。草取りは夏の暑い時期が繁忙期で、へばる事もありますが、利用者さんの声に力をもらっています。

痒い所に手が届け！

シルバー人材センターとジユトクの共同開発 PBJ[※]商品

※produce by JUTOKU の略で、ジユトクが企画・製造するオリジナル商品です。

会員の声をヒントに 安全で快適な仕事環境を支えるグッズを開発



安心・安全な作業帽子
SCヘッドガードライト

ある日ジユトクにこんなご相談が届きました。「除草作業をするときに、ぶつかりそうな木や、剪定した枝が落ちてきた時に頭を守れるものはないですか？」

帽子では頭が守れない…けれどヘルメットを被るほどではなく、かえって重さで首が疲れるし、蒸れて熱い…そんなお悩みを解決するべく、センター様とジユトクは共同で新しい帽子を開発することになりました。ご相談くださった長浜市シルバー人材センター様とジユトク担当者は、150kmの距離をものともせず 何度も打ち合わせを重ねました。

そして、軽くて被りやすく、帽子の中に簡易メットが入っていて頭も守れる、「SC ヘッドガードライト」が誕生しました。

会員様の声をもとに、センター様とジユトクが「こんなものがあつたらな」を形にした「SC ヘッドガードライト」は、今では全国各地のシルバー人材センター様で採用されています。



山本 善彦さん

南部 尚さん

使用者様の声

常滑シルバー人材センター様

庭木の手入れの仕事で入り組んだ枝の中で作業するとき、少しづつかかって守られているから安心です。見た目は一見キャップみたいでカッコよく、メッシュ部分があるので通気性が良いのも具合が良い！



長浜市シルバー人材センター様
就業時の様子

センター様の声

新島村シルバー人材センター様
夏場の海岸清掃の時に使用しています。機械を使わない作業なので、ヘルメットより軽くて通気性のあるヘッドガードライトを選びました。

北は北海道から南は沖縄まで！
ヘッドガードライト活躍中!!
地図中の■で示したセンター様にご採用頂いています。

開発の現場から - 当時を振り返って -

長浜市シルバーセンターのご担当者様は、会員様の安全について、ご自身でよく調べられていて知識をお持ちでした。経験が浅かった私は教えていただくことが多く、また会員様の安全への思いが伝わってきました。センター様と共同で開発したヘッドガードライトが形となり、少しでもお役に立てたことがうれしかったです。(営業部 長川)



現場の声をもとに開発した PBJ 商品は、今では 6 種に拡大しました。会員様のお困りごとを軽減できれば、利用者様もハッピーに。そんな笑顔の広がりが、地域を元気にすると信じて、ジユトクはこれからも会員様の声に耳を傾け、PBJ の開発を通してシルバー人材センター様の活動を応援します。

次世代と地域がタッグを組んだ！ 豊商生×地域活性化コンソーシアム

豊橋商業高校（豊商）は、創立118年の伝統校。SNSを通じた積極的な学校情報発信やユニークな授業など、革新的な取組みでも話題を集めています。そんな豊商が、地元企業の情報発信のお手伝いを、生徒自ら行う「オリジナル・ラジオ番組」を立ち上げました。ラジオMCの役割を経験しながら、企業側の立場で発信する内容を考える・・・。

次世代と地元の企業、ラジオのリスナーの3者を繋ぐ、このワクワク企画に賛同したジユトクと、地域活性の若い担い手とのふれあいをご紹介します。



～地域活性を担う、生徒の活躍ぶりと、将来への期待～

本校は118年の伝統がある県内有数の単独商業高校です。地域に根ざし、地域貢献・地域活性を念頭に様々な教育活動を実践しています。創立120周年を2年後に控え、今までもX、Instagramを中心としたSNS発信に力を入れ、情報発信の強化に努めてきました。昨年度は、科目「広告と販売促進」の授業でTikTokでの情報発信をしたところ、ある動画は77万回再生され、飛躍的に本校の認知度が上がりました。と同時に、高校入試での第一志望の倍率は過去最高となり、その影響力に驚きました。本年度は、さらにオリジナルラジオ番組を通じ、生徒の「スピーチ能力の向上」「プレゼンテーション能力の伸長」「高校生目線での地元企業のPR」「企画力・構成力・交渉力の育成」を目標に取り組んでいます。現場で生徒の様子を見ると、緊張感もありながらも楽しそうに進行しています。年代の異なる企業の方とも無難にコミュニケーションをとっている姿を見ると、「これぞまさしく実学だ!」と感じます。今後は、生徒自らスポンサー集めを行ったり、企画・構成をさらに良いものにしていきたいと考えています。引き続き本校の取組みにご期待ください!



間瀬校長先生



①ラジオ番組をやってみての感想

人生で一度もない経験でしたが、みんなと新しい事に挑戦でき、それも「ラジオ放送」なんてとてもワクワクしました!

興味本意で手を挙げましたが、地元の企業への就職希望なので、実際に働く人のお話を聞くことができ貴重な体験でした。

②高校生から見たジユトクの印象

事前に調べた「帽子の製造・流通」という情報から、どんな会社か正直想像がつかなかったです。でも、見学をして帽子だけでなく、お客様や時代のニーズに合わせた商品を提供し、変化している会社で素敵だと思いました。

印象的だったのが、テレワークです。豊橋の企業だけど、日本各地の会社や仕事に携わることができるってすごいなって。あとは、社長さんのお話が面白くて、すごい人だ...と感じました!

～ジユトクの地域活性化コンソーシアム 取組み応援～

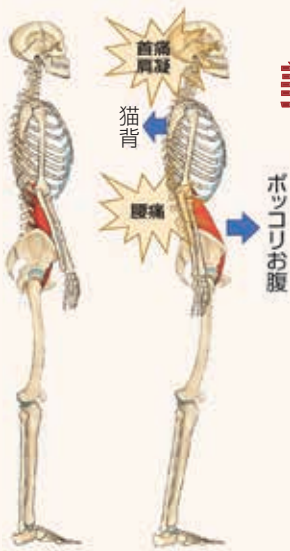
コンソーシアムとは、ひとつの事業を遂行するために集まった団体、共通の目的に沿った活動を行う団体を指します。今回の地域活性化の推進に向けて、企業や地域社会が連携し、未来の人材育成に携わることができる機会は私共企業にとっても有意義なものであると取組みに賛同いたしました。その中で、豊橋商業高校の生徒たちでつくるオリジナルラジオ番組企画は、未来を担う地域の学生達に株式会社ジユトクがどんな企業であるのか、どんな想いで事業を展開してきたかを知って頂く良い機会ではないかと考え参加させていただきました。(長濱)

今回生徒さん達を見ていて、勉強や運動だけでなくいろいろな事に興味を持ち経験し、自分で考え行動する事を学んでいて素晴らしいと思いました。様々な企業の現場に触れることができるこの機会は、高校生のみなさんにとってとても貴重な経験になったと思います。将来、こういった経験を沢山積みみなさんが地元豊橋を支えていくと思うととても心強いです。(総務部 河辺)



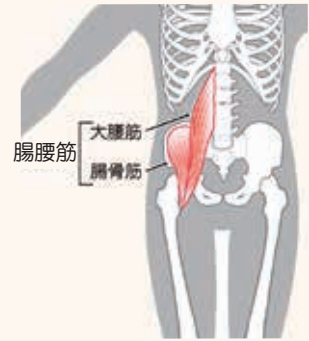
みなさんの毎日をちょっとだけパワーアップさせちゃう、ジユトクスタッフとっておきの商品やレッスン情報をお届け！

元ジムトレーナーの長濱常務 監修の 美ボディワンポイントレッスン 姿勢を正してポッコリおなかを改善！



みなさん腸腰筋(ちょうようきん)をご存知ですか？
腸腰筋は、上半身と下半身をつなぐ重要な筋肉で、姿勢の維持や歩行などに関わっています。長時間座りっぱなしなどで同じ姿勢が続くと、この筋肉が凝り固まり、骨盤や背骨の安定性が低下し、姿勢の崩れにつながる可能性があります。

具体的には、腰痛や反り腰、ぽっこりお腹、むくみや冷え性、そして思わぬケガのリスクが高まる可能性があります。腸腰筋をストレッチすることで、姿勢を正してくれるだけでなく、スリムな体型を目指す助けにもなります。簡単にできるので毎日のルーティンに取り入れて、体の丸まりを解消し、メリハリのある体型を手に入れましょう！



①立て膝の状態から片脚を大きく一歩前。前の膝を曲げ、膝の真下に踵がくるように足を前後に開きます。

②次に両手を前脚の太ももに添え、骨盤を前に押し込み、上体を起こし胸を引き上げましょう。この時腰を反らないように注意しましょう。伸ばしている最中は息を止めないよう細く長く吐きながら痛気持ちいいところで20秒ほどキープします。

③更にストレッチ効果をあげるために、下げている脚側の腕を挙上すればお腹の横から脚の付け根まで広範囲に、より深くストレッチがかかります。余裕がある方は挑戦してみてください。

左右各20秒を1セットとして2セットほどから無理のない範囲で始めてみましょう。

ホットめし

クックマートの
「でぶパン」



製造部
藤森千賀子 おすすめ

愛知県東三河と静岡県浜松市に展開する、野菜が新鮮でお惣菜も美味しい地元で人気のスーパーです。



私のホットめしは、クックマートで販売しているのでぶパンです！とんでもなくお腹が空いて、すぐにでも何か口に入れたい時にぴったりなんです。とにかく大きい!! でぶパン一つで主食・主菜・副菜がバランスよく摂れると信じています(笑)。



特に好きなのはチキンタツタ。ジューシーなチキンにタルタルソースと香ばしいお醤油が絡まり、一口かぶりつけばわんぱくな気分になれちゃいます。ふかふかのコッペパンに溢れるソースと具材がたまらなくて、コスパ最強です。1人でこっそりかぶりつくのも楽しいですし、子供達やママ友とシェアして食べるのも盛り上がりです。種類が豊富で、なかなか出会えないでぶパンもいて、そんなツンデレなところも魅力です。口の周りを汚す覚悟で、ぜひ真ん中から思いっきりいってみてください。最高ですよ！

こだわりマイアイテム

白井油脂工業さんの
「無添加石けん ミセル」



製造部
澤田智代 おすすめ

愛知県豊橋市にある創業101年の会社。職人さんによって丁寧に作られた人と地球に優しい石鹸です。



高校生コラボパッケージ

私のこだわりマイアイテムは、白井油脂工業さんのミセル石けんです。もう15年も愛用しています。初めてこの石鹸を知ったのは、雑誌の「無添加せっけん」特集記事でした。それ以来、入浴時に体と顔を洗うのに欠かせない存在です。この石鹸の魅力は、洗顔後もしっとり感が続くところ。ネットを使って泡立てると、もこもこの泡が気持ちよくて最高なんです。アトピー肌でも優しく使えるので、安心して毎日使えます。当社では、小売りもしてくれアウトレット商品もありました。従業員の方が気軽に相談に乗ってくれるので、近くに行ったときには立ち寄ってみるのもおすすめです。

1. 学びはこれからが本番!? 二足の草鞋を履く社長の一日



代表取締役 上村 哲司

Q 上村社長は今も大学に行かれていますとお聞きしましたが。

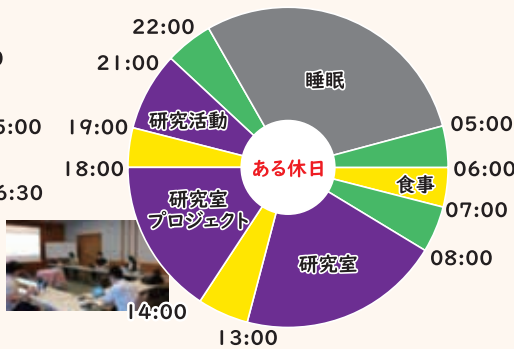
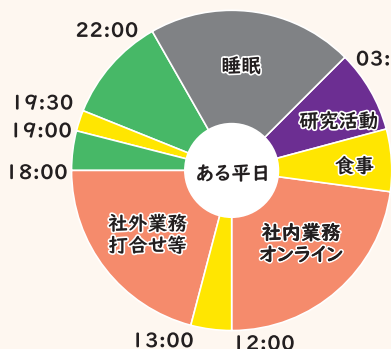
A はい。現在も東京にある国立大学の博士課程に所属しています。そこは社会人ばかりの研究院ですので、企業に勤める様々な分野の専門家と一緒に研究をしています。

Q どんな内容を研究しているのですか？

A 主に所有と経営が一致する企業のカバナンス（統治機構）について実証分析しています。あと、広告に関する効果検証や、企業の倒産プロセスなども研究しています。

Q 分かりにくいのもう少し分かりやすく説明してもらってもいいですか？

A 例えば、倒産プロセスについてですが、企業の成功は基本的に模倣は難しいと考えています。時代や背景、経営者含む組織など同一なもの存在しないからです。一方で企業の失敗には一定の法則があると思っています。どのような時期に、どのような経営判断をし、倒産に至るのか？その経路について財務的な数字を用いて統計的に研究を行っています。



成功の反対とまで言いませんが、このパターンを知ることで経営の健全化とリスクの軽減はできます。それについて、生粋の学者でなく、実際の経営者が行っているという感じですか。

Q 具体的にどのようなスケジュールでおこなっているのですか？

A 社会人の研究員なので平日の夜と土日がメインとなります。現在は隔週で愛知と都内を往復する生活です。あと朝は3時に起きて2時間研究に充てていますね。習慣もあります。朝の方が集中できるのと、日中よりアイデアが出る気がするのです。その分寝るのは早いんですけどね。

Q 社長にもなってなぜ学ぶのですか？

A 最も質問される内容です。

Q コロナ、戦争など想定を超えるようなことが起こる時代です。

先行きが見えない混沌とする時代で、ジユトクに集うスタッフ、その家族、取引先、お客様、地域の皆さんに、どのようにしたら？と考えたとき自分は「学ぶ」ことが最善だと考えました。

Q 最後に一言

A 青年期までに教育を終え、蓄積した知識を活かして活躍する時代は終わったかと思っています。急激な社会変化に対応するために、常に情報を収集し、研鑽を励む姿勢がこれからの時代には必要だと思います。またこの分野は、日本の九十五%を超える中小企業の話です。研究の成果が少しでもこの国に暮らす人のためになればと思っています。

それに、会社でも「挑戦」という言葉をよく話していますが、スタッフの皆さんに挑戦を押し付け、私がないということもおかしな話ですし、ならば私からという気持ちですかね。そのせいでスタッフの皆さんにはいろいろな負担を掛けてると思います・・・

Q 最も質問される内容です。

Q コロナ、戦争など想定を超えるようなことが起こる時代です。

先行きが見えない混沌とする時代で、ジユトクに集うスタッフ、その家族、取引先、お客様、地域の皆さんに、どのようにしたら？と考えたとき自分は「学ぶ」ことが最善だと考えました。

同僚の研究者から

Q 青年期までに教育を終え、蓄積した知識を活かして活躍する時代は終わったかと思っています。急激な社会変化に対応するために、常に情報を収集し、研鑽を励む姿勢がこれからの時代には必要だと思います。またこの分野は、日本の九十五%を超える中小企業の話です。研究の成果が少しでもこの国に暮らす人のためになればと思っています。

私は筑波大学大学院（※）で上村さんと同じ中村ゼミに所属していました（上村さんは2年上の先輩）。指導教授である中村亮介准教授の研究分野は財務会計論・実証的会計分析・会計制度論で、私達も企業会計や財務を学びながら研究を行いました。

上村さんの印象は、「少ない言葉で多くを伝えるタイプ」で、研究に対する高い情熱が感じられました。上村さんは兄貴肌で周囲を気遣い、一人一人が全力を出すよう鼓舞する姿勢が印象的でした。周囲に良い意味でプレッシャーを与える役割の方とも感じました。私がゼミに入ったばかりの頃、「研究は何度もやり直し、多くの試行錯誤を続けるものだ」というアドバイスをいただいたことが修士論文を書き上げるまで役立ちました。



宮坂 敦さん
公益財団法人 日本生産性本部
国際連携室 兼 経営アカデミー 兼 トップ
セミナーグループ 兼 デジタル戦略室 部長
MBA 中小企業診断士

上村さんの主な研究テーマは「所有と経営が一致する企業のカバナンス」です。修士論文では「1010社の8年分の財務諸表データをR言語

で重回帰分析などの統計モデルで分析するなど、一般的な実務で行う分析を遙かに超えた分析をしています。また、上村さんの研究は、日本の経営者の権威からも大変、評価されています。経営者の問題意識を研究に反映していることが価値を生んでいるのではないのでしょうか。

首都圏でも地方でも、経営しながら研究を続ける経営者は日本には少なく、上村さんの存在は貴重です。日本の経営者に大学院卒が少ないことは政府も問題視しております。米国の経営者の六十七%が大学院卒であるのに対し、日本は十五%にとどまります（※）。以前、日本の大手企業経営者から「欧米では多くの経営者が修士や博士の学位を持ち、思考訓練を受けているため、議論で対抗するのが難しい」と聞きました。大学院では先輩研究者からの指摘を受ける議論が思考訓練になります。社員の皆様も、上村さんのコメントが鋭くなっていると感じているのではないのでしょうか（笑）。

経営者であり研究者でもある上村さんのような方が増えることが、日本の産業界にとって重要だと考えています。

で重回帰分析などの統計モデルで分析するなど、一般的な実務で行う分析を遙かに超えた分析をしています。また、上村さんの研究は、日本の経営者の権威からも大変、評価されています。経営者の問題意識を研究に反映していることが価値を生んでいるのではないのでしょうか。

首都圏でも地方でも、経営しながら研究を続ける経営者は日本には少なく、上村さんの存在は貴重です。日本の経営者に大学院卒が少ないことは政府も問題視しております。米国の経営者の六十七%が大学院卒であるのに対し、日本は十五%にとどまります（※）。以前、日本の大手企業経営者から「欧米では多くの経営者が修士や博士の学位を持ち、思考訓練を受けているため、議論で対抗するのが難しい」と聞きました。大学院では先輩研究者からの指摘を受ける議論が思考訓練になります。社員の皆様も、上村さんのコメントが鋭くなっていると感じているのではないのでしょうか（笑）。

経営者であり研究者でもある上村さんのような方が増えることが、日本の産業界にとって重要だと考えています。

※1…筑波大学大学院 人文社会ビジネスと科学学術院 ビジネス科学研究科 経営学学位プログラム(MBA)

※2…第4回 未来人材会議(経済産業省)二〇二三年三月二十九日

ジユトクの横顔

ひとなる創刊に至ったジユトクの思い、そして地域に根ざす企業としての理念や新たな取組みを見つめます。

畳糸から帆前掛・広告販促への歩み、そして100年企業へ



の糸を紡績する会社へと変貌をとげました。糸からやがて豊橋の地場産業である帆前掛けを生産するようになり、帆前掛けといえば主に酒造の広告として活用されてきました。これが半世紀以上販売促進を手がける発端となっています。

販売促進活動には、「お客様の認知を高め、売上に貢献する」という命題があり、お客様と共に知恵や工夫を凝らし発展してきました。

創業から八〇有余年、時代と共に変化してきました。築き上げた信頼とジユトクを愛して頂いたお客様に感謝し、これから迎える創業一〇〇年に向け、3つの企業ドメイン「食の安全を守る」「作業現場を快適に」「地域社会を元気に」を掲げ展開していきます。

本誌では今回「地域社会を元気に」への取組みの一部として紹介させていただきました。現在地域が抱える課題には、人口減少、少子高齢化社会を皮切りに労働力・人材不足、限界・消滅集落、過疎化、空き家問題など様々です。そうした地域社会で活躍する、また活性化を図る団体・企業の皆様に私どもが展開する商品やサービスを少しでも課題解決の力になればと思ひ企業活動をしております。

時代の変化とともに、一九四九年現在のジユトクの前身となる太平洋織維株式会社に名前を変え織維製品の製造・加工・販売、麻真田（アサナダ※）の製造・加工・販売、畳

力ながら何かお役に立てないかと思ひ弊社のオリジナル商品などを含め（※）災害支援品を提供させて頂きました。お世話になっている地域の皆様の生活が、1日でも早く平穏な日常に戻れることを社員一同お祈りしております。

今後市場の声を耳を傾けながら、これまで先人達が築き上げてきた信頼・実績・ノウハウを活かし、これからの世の中に必要とされるオリジナル商品の企画から製造、販売、管理、物流、販売分析や情報提供などまで『伝統と革新』を取り入れ、皆様の事業活動にこれからも貢献してまいります。

（※）麻真田・婦人帽の材料として使用されていたマニラ麻の繊維を真田に編んだ織物
 （※）災害支援品：セーフティキャップ、帽子、マスク、タオル、手袋、シート等
 能登地域6センターへ計1,000点（総額約100万円相当）支援



常務取締役 長濱 成幸

2. ホームタウンが増えるありがたさ 副業のリアル

企業ブランド確立を目的に、ジユトクの魅力を社外発信する広報業務に携わっています。生活拠点は東京。週1、2回の打合せにはリモートで参加し、随時、チャット機能などで交信しています。



米原 知絵子
副業人材 広報

3社の外資系メーカーのマーケティング部門でプランニング、広報、広告、リード管理などを推進。現在は、フリーランスでものづくり企業のマーケティング支援に従事。

以前、地域創生の企画に参加して以来、日本のモノづくりを自分の専門分野（マーケティング・コミュニケーション）で応援したい思いが強まりました。そんな中、ジユトク社の副業人材募集にご縁があり業務がスタートしました。印象的だったのが、会社の熱い意志と柔軟さ。一〇〇年企業を目指す上で、現状に安住せず挑戦を続ける決意が直球で伝わってきました。特定分野の専門人材確保（副業募集）も、新たな挑戦の一環であると感じると、ブランド発信にも熱が入ります。こうしたチャレンジ精神はもとより、画面越しにも溢れる社風の温かさ、地元愛、お客様への謝意などの「ジユトクらしさ」を存分に表現するのが使命と感じています。

私が思う副業の魅力は、一企業の枠に留まらない出会いの広がり、地域への愛着です。最近、小説の中で豊橋が登場すると付箋を付けてしまいます。ロボットコンテストで活躍する豊橋の大学に、気づけば声援を送っていました。里心が「ひとねられる」、貴重な体験をしています。

三河の「笑顔」「元気」「つながり」に、
地域に根ざす80年企業 ジュトクからエールを送る 地元応援マガジン

特集

我ら「シルバーさん」応援団
地域を支えるシルバー人材センターとジュトク

次世代と地域がタッグを組んだ!
豊商生x地域活性化コンソーシアム

街の活力チャージ

- ・元ジムトレーナー長濱常務監修の 美ボディワンポイントレッスン
- ・ホッとめし
- ・こだわりマイアイテム

ライフスタイル百景

1. 学びはこれからが本番!? 二足の草鞋を履く社長の一日
2. ホームタウンが増えるありがたさ 副業のリアル

ジュトクの横顔

豊糸から帆前掛・広告販促への歩み、そして100年企業へ

アンケートに回答いただいた方に
(所要時間2分程度)

ジュトク オリジナル
フレームスクエアボトルを
プレゼント!



本誌の感想をお
寄せください。
抽選で20名様に
プレゼントします。



応募締切 2024年10月末

表紙デザイン:

創業以来、三河の地域に根ざし、更なる革新と発展を目指すジュトクの理念と。本誌「ひとねる」への思いを生成AIで表現したデザインです。

初版 2024年9月



～人の消費を科学する～
株式会社 **ジュトク**®

愛知県豊橋市向山大池町4-12
<https://jutoku.co.jp> info@jutoku.co.jp